

第42回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

実 施 要 項



開催日	2017年2月11日(祝土)・12日(日)
会 場	さいたま市記念総合体育館
主 催	日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要.....	P 3
全日本選手権予選の部.....	P 3～13
支部別出場枠数	P 14～16
WBTF インターナショナルカップ／2017 年 I B T F グランプリ 関東支部選考の部	P 17～24
支部別出場割当枠数	P 25
各種申し込みについて.....	P 26～27
郵便局払込取扱票	

大会概要

【大会名称】 第42回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

【日時】 2017年2月11日(祝土) 9:30~19:30 (予定)

全日本選手権予選の部 準々決勝・準決勝

(ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール)

WBTFインターナショナルカップ/2017年IBTFグランプリ予選関東支部選考の部

(アーティスティックトワール・アーティスティックペア・フリースタイルチーム・グループ)

2017年2月12日(日) 9:00~18:30 (予定)

全日本選手権予選の部 準決勝・決勝

(ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール)

WBTFインターナショナルカップ/2017年IBTFグランプリ予選関東支部選考の部

(アーティスティックトワール・アーティスティックペア・フリースタイルチーム・グループ)

【会場】 さいたま市記念総合体育館 〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1

【主催】 日本バトン協会関東支部

【大会事務局】 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304号室

TEL/FAX 03-5879-6466

日本バトン協会関東支部

【後援】 埼玉県・埼玉県教育委員会・(公財)埼玉県体育協会・さいたま市・(公財)さいたま市体育協会
(予定) NHKさいたま放送局・株式会社テレビ埼玉・株式会社FM NACK5・株式会社埼玉新聞社
一般社団法人日本バトン協会

【主旨】 本大会は、競技バトンの普及発展及び資質の向上をはかり、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、その活動を通して青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。

全日本選手権予選の部は、「第42回全日本バトントワリング選手権大会」の関東予選として開催され、種目はソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワールの6種目を実施する。また、WBTFインターナショナルカップ予選関東支部選考の部としてアーティスティックトワール・アーティスティックペア・フリースタイルチーム・グループを実施する。

WBTFインターナショナルカップとは、世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的として設立された、世界バトントワリング連合【WORLD BATON TWIRLING FEDERATION(WBTF)】が更なる競技バトンの普及を図るため「世界バトントワリング選手権大会」と隔年開催される大会である。今大会は「第42回全日本バトントワリング選手権大会、第9回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考」に選出するための関東支部選考として実施する。

《さいたま市記念総合体育館として以下の案内を掲載する。》

- JR京浜東北線「浦和」駅
国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分
- JR埼京線「中浦和」駅
国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分

全日本選手権予選の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2016年11月28日(月)現在、一般社団法人日本バトン協会に2016年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 参加者は、参加申込書を期日 2016年11月28日(月)PM5:00までにメールにて申し込むこと。
- (3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2016年11月28日(月)までに振り込むこと。
- (4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2016年度ワッペンを着装すること。
- (5) 一選手の出場は2種目までとする。

2. 種目に関する規定

- ① ソロトワール
- ② トゥーバトン
- ③ スリーバトン
- ④ ペア
- ⑤ ソロストラット
- ⑥ ダンストワール

3. 部門に関する規定 (U・・・アンダー／O・・・オーバー)

【ソロトワール】

- ① 女子U-9 7歳 (2010年4月1日) ～ 9歳 (2007年4月2日)
- ② 女子U-12 10歳 (2007年4月1日) ～ 12歳 (2004年4月2日)
- ③ 女子U-15 13歳 (2004年4月1日) ～ 15歳 (2001年4月2日)
- ④ 女子U-18 16歳 (2001年4月1日) ～ 18歳 (1998年4月2日)
- ⑤ 女子U-22 19歳 (1998年4月1日) ～ 22歳 (1994年4月2日)
- ⑥ 女子O-23 23歳 (1994年4月1日) 以上
- ⑦ 男子JrU-12 7歳 (2010年4月1日) ～ 12歳 (2004年4月2日)
- ⑧ 男子JrU-17 13歳 (2004年4月1日) ～ 17歳 (1999年4月2日)
- ⑨ 男子Sr 18歳 (1999年4月1日) ～ 22歳 (1994年4月2日)
- ⑩ 男子Ad 23歳 (1994年4月1日) 以上

【トゥーバトン・スリーバトン】

- ① 女子U-12 7歳 (2010年4月1日) ～ 12歳 (2004年4月2日)
- ② 女子U-15 13歳 (2004年4月1日) ～ 15歳 (2001年4月2日)
- ③ 女子U-18 16歳 (2001年4月1日) ～ 18歳 (1998年4月2日)
- ④ 女子O-19 19歳 (1998年4月1日) 以上
- ⑤ 男子JrU-12 7歳 (2010年4月1日) ～ 12歳 (2004年4月2日)
- ⑥ 男子JrU-17 13歳 (2004年4月1日) ～ 17歳 (1999年4月2日)
- ⑦ 男子Sr 18歳 (1999年4月1日) ～ 22歳 (1994年4月2日)
- ⑧ 男子Ad 23歳 (1994年4月1日) 以上

【ペア】

- ① U-12 7歳 (2010年4月1日) ～ 12歳 (2004年4月2日)
- ② U-15 13歳 (2004年4月1日) ～ 15歳 (2001年4月2日)
- ③ U-18 16歳 (2001年4月1日) ～ 18歳 (1998年4月2日)
- ④ O-19 19歳 (1998年4月1日) 以上

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の選手の部門とする。

【ダンストワール・ソロストラット】

- ① U-12 7歳(2010年4月1日)～12歳(2004年4月2日)
- ② U-15 13歳(2004年4月1日)～15歳(2001年4月2日)
- ③ U-18 16歳(2001年4月1日)～18歳(1998年4月2日)
- ④ O-19 19歳(1998年4月1日)以上

※ 性別区分は行わない。

4. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

5. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

6. 審査に関する規定

- (1) 審査員長、副審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長は審査の円滑な遂行を総括する。
 - ② 副審査員長は、審査員長の補佐し円滑な遂行を総括する。
 - ③ 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に5名とする。
 - ④ ペナルティ審査員は1名とする。
- (2) 成績は次の通りとする。
 - ① 準々・準決勝は各審査員の得点から(10点法小数点第2位まで)ペナルティ審査員の減点を差し引き、席次点を上下カットし集計したものとする。
 - ② 複数コートで行う準々決勝においては各審査員の得点を上下カットし集計したものとし、準決勝進出最終順位が同点の場合は、全員が準決勝に進出する。
 - ③ 決勝は各審査員の得点から(10点法小数点第2位まで)ペナルティ審査員の減点を差し引き、席次を上下カットし集計したものとする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

6 種目の審査は部門にかかわらず下記の5つのレベルで評価

フェア [0.0～2.9]
基本的なトフリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0～4.9]
基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0～6.9]
3モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0～8.9]
正確で、質の高いトフリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0～10.0]
すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

7. 順位に関する規定

(1) 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。

(2) 決勝進出者は8位までを基本とする。

席次同点が出た場合は同位者のみ全審査員の席次合計を行い、決勝進出者を決定する。席次合計同点が出た場合は得点を上下カットしたものを集計、更に同点が出た場合は全審査員の得点の合計を行い、決勝進出者を決定する。

尚、決勝進出最終順位が同点、同席次の場合は全員が決勝に進出する。

(3) 各部門共決勝の成績により8位まで順位を決定する。尚、同位者が出た場合は次の手順に従って順位を決定する。

① 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の席次点合計

② 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数を上下カットした合計

③ 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数合計

④ ①②③の方法によっても尚、同点同次席になった場合は同位とし、次位を空位とする。

⑤ 決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

8. 表彰に関する規定

(1) 原則として各部門共8位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

9. 推薦に関する規定

(1) 本大会の上位者を関東支部より全日本バトントワーリング選手権大会に推薦する。

(2) 全日本バトントワーリング選手権大会推薦の最終順位が、同点・同席次の場合は、再演技にて推薦者を決定する。

10. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット共通】

(1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【ダンストワール】

(1) 自由（小道具・帽子着脱は不可）

全日本バトントワーリング選手権大会への推薦者の手続き

7日以内に団体毎に全日本選手権大会の実施要項に従い「第42回全日本バトントワーリング選手権大会事務局」へ申し込むこと。

※ すべての種目のS rはシニア、A dはアダルトとする

ソロトワール

1. 部門は次の通りとする。

(1) 女子ソロトワール

U-9	(7歳～9歳)	U-12	(10歳～12歳)	U-15	(13歳～15歳)
U-18	(16歳～18歳)	U-22	(19歳～22歳)	O-23	(23歳以上)

(2) 男子ソロトワール

Jr U-12	(7歳～12歳)	Jr U-17	(13歳～17歳)
Sr	(18歳～22歳)	Ad	(23歳以上)

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする。
- (4) 課題曲(時間) … Solo Special (約1分45秒)
- (5) 演技内容 … 1本のバトンを使って技術を競う。

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション (オープニング サリュートは自由)
 - ② 3モード
 - エーリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 - ロール [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 - コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
 - ③ エンディング (エンディング サリュートは自由)
- ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・ 3モードのバランス／両手使い
- ② ディフィカルティー
 - ・ バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスプレッション
 - ・ プロジェクション (意気込み)／ダイナミックさ／持続性 (忍耐力とスタミナ)／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
 - ・ バトンの回転だけでなく、全体 (3モード) を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

トゥーバトン

1. 部門は次の通りとする。

(1) 女子トゥーバトン

U-12 (7歳～12歳) U-15 (13歳～15歳)
U-18 (16歳～18歳) O-19 (19歳以上)

(2) 男子トゥーバトン

Jr U-12 (7歳～12歳) Jr U-17 (13歳～17歳)
Sr (18歳～22歳) Ad (23歳以上)

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン2本
- (3) 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする
- (4) 課題曲(時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- (5) 演技内容 … 2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① コンタクト マテリアル (2本のバトンを身体の近くで行うトワール)
- ② ロール (両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ)
- ③ ハイ ロー (空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクトマテリアル等の組み合わせ)
- ④ ダブル トス トリック (2本同時に空中ヘトス)
- ⑤ ジャグル (片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス)
- ⑥ シャワー (両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ)
- ⑦ コンプレックス トリック (複雑なトリック・リリース・レセプション)

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- ② ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション(意気込み)／ダイナミックさ／持続性(忍耐力とスタミナ)／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ③ スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

スリーバトン

1. 部門は次の通りとする

(1) 女子スリーバトン

U-12	(7歳～12歳)	U-15	(13歳～15歳)
U-18	(16歳～18歳)	O-19	(19歳以上)

(2) 男子スリーバトン

Jr U-12	(7歳～12歳)	Jr U-17	(13歳～17歳)
Sr	(18歳～22歳)	Ad	(23歳以上)

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン3本
- (3) 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする
- (4) 課題曲(時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- (5) 演技内容 … 3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
- ② シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
- ③ ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
- ④ ダブルトスーシングルトス
(2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする)
- ⑤ ハイロー (高いエアーの下でトゥーバトンの技を行うこと)
- ⑥ スタックス (高いエアーの下に低いエアーを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う)
- ⑦ トリプルトス (3本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
 - ・シークエンスの広がりと変化、それらのミックス/両手使い/コンタクトマテリアル、ロール/パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- ② ディフィカルティー
 - ・密度/リリース、レセプションの困難度/リスク/エアー

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンの精密さ、安定度/コレクション/リズム、タイミングのコントロール/バトンとボディのブレンド及びスピード/フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 - ・エンターテインメント性/持続力&スタミナ/自信のある演技/リカバリー能力
- ③ デマンド
 - ・継続性/同時責任性/ビジュアルトラッキング/空間構成能力

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

ペア

1. 部門は次の通りとする

- U-12 (7歳～12歳) U-15 (13歳～15歳)
U-18 (16歳～18歳) O-19 (19歳以上)

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の選手の部門とする。

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 2名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン2本 (各1本)
- (3) 演技スペース … 横8m×縦8mの広さを目安とする
- (4) 課題曲 (時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- (5) 演技内容 … 二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

- ① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する
※ 二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある

3. 審査内容

(1) 内容

- ① バラエティー
・ 3モードのバランス/エクステンジ/ペアワーク/フロアパターン
- ② ディフィカルティー
・ バトンとボディワークの困難度/シンクロナイズーションの困難度/ コーディネーションの困難度

(2) 実施

- ① テクニック
・ バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/バトンの熟練度・質/ ボディワークの熟練度・質/
ペアのコントロール/リズム・タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスプレッション
・ ペアとしての責任/プロジェクション (意気込み) /持続性 (忍耐力とスタミナ) / 自信のある演技/
リカバリー能力
- ③ スピード
・ バトンの回転だけでなく一貫したスピード/二人の統一したスピード

(3) ペナルティ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

ソロストラット

1. 部門は次の通りとする

- | | |
|----------------|----------------|
| U-12 (7歳～12歳) | U-15 (13歳～15歳) |
| U-18 (16歳～18歳) | O-19 (19歳以上) |

※ 性別区分は行わない。

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 …… 1名
- (2) 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース …… 横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲 (時間) …… 栄光へのマーチ (約1分30秒)
- (5) 演技内容 …… マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

- ① イン트로ダクション 8拍
- ② ミリタリーストラット 32拍
- ③ プレゼンテーション 32拍
- ④ フォワードモーション 96拍
- ⑤ エンディング 16拍

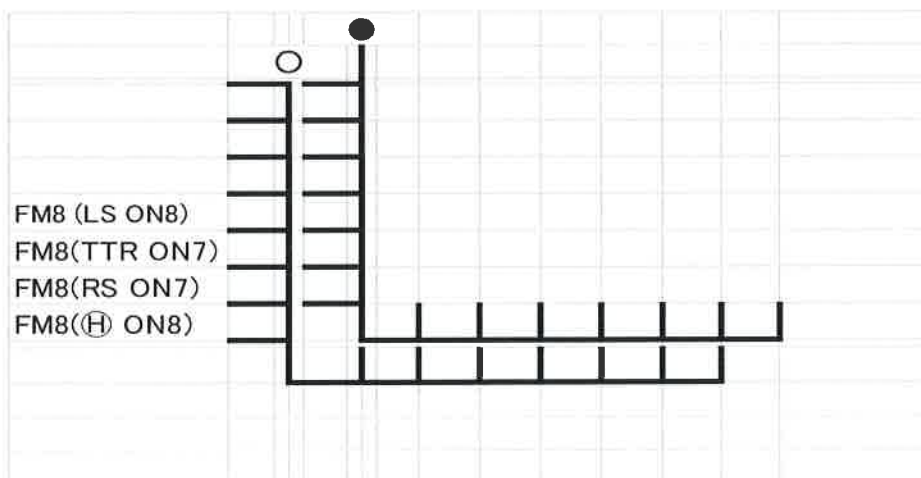
構成内容

I. イン트로ダクション

- 振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作 (アテンション・サリュート等)

II. ミリタリーストラット (ダブルL字ストラット)

- 足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット (腿は、床と平行になる) で8拍前進、8歩
目 (右足) を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える



- 右手はビートタイム (拍子をとる) [指揮杖でバンドを指揮するような動作]
- 左手は、指を揃えて左腰におく
- 足は、ベーシックストラット
- 背中是一直ぐ正面 (進行方向) を向く 顔は引き締める

III. プレゼンテーション

自由に表現できるセクション

IV. フォワードモーション

- (1) ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

V. エンディング

- (2) 全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

3. 審査内容

(1) 内容

- ① イントロダクション
 - ・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ③ フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

- ① テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスプレッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。
両足は1拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

ダンストワール

1. 部門は次の通りとする

- | | |
|----------------|----------------|
| U-12 (7歳～12歳) | U-15 (13歳～15歳) |
| U-18 (16歳～18歳) | O-19 (19歳以上) |

※ 性別区分は行わない。

2. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース … 横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲(時間) … 輝きの時 (約1分34秒)
- (5) 演技内容 … バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う
ルーティーン構成
 - ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

3. 審査内容

(1) 内容

- ① コレオグラフィ
・ バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方・ステージング
- ② バトンとダンスのブレンド
・ バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

(2) 実施

- ① テクニック
・ バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
・ ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

(3) ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

支部別出場枠数

(1) 以下の通りすべて支部推薦とする。

(2) 支部推薦種目の支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠（枠数の下線箇所）として1枠追加する。
- ③ 部門ごとの自由枠はソロトワールを6枠とし、開催地における支部は2枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、1部門2枠までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロトワール	女子	U-9(7～9才)	1	1	2	1	2	3	3	1	<u>4</u>	1	19
		U-12(10～12才)	1	1	3	1	2	2	2	1	<u>5</u>	1	19
		U-15(13～15才)	1	1	3	1	3	<u>4</u>	1	1	3	1	19
		U-18(16～18才)	1	1	3	2	6	2	1	1	<u>3</u>	1	21
		U-22(19～22才)	1	1	5	1	1	<u>6</u>	1	1	1	1	19
		O-23(23才以上)	1	1	<u>8</u>	1	2	2	1	1	1	1	19
	男子	JrU-12(7～12才)	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	13
		JrU-17(13～17才)	1	1	1	<u>2</u>	1	2	1	1	3	1	14
		Sr(18～22才)	1	1	2	1	1	3	1	1	5	1	17
		Ad(23才以上)	1	1	<u>3</u>	1	1	3	1	1	3	1	16
	自由枠		6	6	6	8	6	6	6	6	6	6	62
	計		16	16	37	20	26	35	19	16	37	16	238

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
トウバー バトン	女子	U-12	1	1	2	1	1	1	2	1	4	1	15
		U-15	1	1	1	1	2	2	1	2	4	1	16
		U-18	1	1	2	1	2	2	1	1	4	1	16
		0-19	1	1	4	1	2	3	1	1	1	1	16
	男子	JrU-12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		JrU-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Sr	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Ad	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	11
自由枠		0	0	4	3	4	4	3	0	4	0	22	
計		8	8	18	11	15	16	12	9	21	8	126	
スリー バトン	女子	U-12	1	1	7	1	2	2	1	1	2	1	19
		U-15	1	1	2	1	3	1	1	1	4	1	16
		U-18	1	1	3	1	1	2	1	1	2	1	14
		0-19	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	13
	男子	JrU-12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		JrU-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Sr	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		Ad	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	11
自由枠		1	0	5	2	4	5	3	0	4	0	24	
計		9	8	24	10	15	17	11	8	17	8	127	
ペア	U-12	1	1	3	1	1	2	1	1	4	1	16	
	U-15	1	1	2	1	3	2	1	1	3	1	16	
	U-18	1	1	3	2	2	3	2	1	1	1	17	
	0-19	1	2	2	1	3	7	1	1	1	1	20	
	自由枠	1	2	4	5	4	4	3	2	4	0	29	
	計	5	7	14	10	13	18	8	6	13	4	98	

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロストラット	U-12	1	1	3	1	2	1	<u>2</u>	1	3	1	16
	U-15	1	1	3	1	2	<u>3</u>	1	1	3	1	17
	U-18	1	1	4	1	2	1	1	1	<u>4</u>	1	17
	0-19	1	1	2	1	3	<u>7</u>	1	1	1	1	19
	自由枠	1	3	4	4	4	4	3	0	4	0	27
	計	5	7	16	8	13	16	8	4	15	4	96
ダンストワール	U-12	1	1	2	1	2	1	1	1	<u>4</u>	1	15
	U-15	1	1	2	1	1	2	1	1	<u>5</u>	1	16
	U-18	1	1	<u>3</u>	1	2	2	1	1	4	1	17
	0-19	1	1	<u>6</u>	1	4	3	1	1	1	1	20
	自由枠	2	4	4	5	4	4	2	0	4	0	29
	計	6	8	17	9	13	12	6	4	18	4	97

第9回WBTFインターナショナルカップ／2017年IBTFグランプリ予選

関東支部選考の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、**2016年11月28日(月)**現在、一般社団法人日本バトン協会に2016年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 参加者は、参加申込書を期日 **2016年11月28日(月)PM5:00までにメールにて申し込むこと。**
- (3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、**2016年11月28日(月)までに振り込むこと。**
- (4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2016年度ワッペンを着装すること。
- (5) 全日本選手権予選の部と重複エントリーができる。
ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／アーティスティックトワール／アーティスティックペア／フリースタイルチーム／グループの中から3種目までエントリーできる。

2. 種目・部門・年齢に関する規定

(1) 種目は以下の通りとする。

- ① アーティスティックトワール (WBTF)
- ② アーティスティックペア (WBTF)
- ③ フリースタイルチーム (WBTF/IBTF)
- ④ グループ (WBTF)

(2) 部門・年齢及び性別に関する規定

①アーティスティックトワール ※男子・女子の区分を行う。

ジュニア 12歳(2005年8月31日)～17歳(1999年9月1日)

シニア 18歳(1999年8月31日)～21歳(1995年9月1日)

アダルト 22歳(1995年8月31日)以上

②アーティスティックペア

ジュニア 12歳(2005年8月31日)～17歳(1999年9月1日)

シニア 18歳(1999年8月31日)～21歳(1995年9月1日)

アダルト 22歳(1995年8月31日)以上

※性別区分は行わない。※1名の補欠を用意することが出来る。

※混合ペアのみ、男子1名・女子1名の補欠を用意することが出来る。

③フリースタイルチーム **最低年齢は12歳とする。**

※6名以上8名以内とし、2名の補欠を用意することが出来る※性別区分は行わない。

④グループ **最低年齢は12歳とする。**

※10名以上とし、2名の補欠を用意することが出来る

⑤全種目、2017年8月31日時点の年齢を示す。

3. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

4. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選にて決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順は、セット番号の早い順を優先し、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

5. 審査に関する規定

- (1) 審査員長、審査員の役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長は審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 副審査員長は、審査員長の補佐し円滑な遂行を総括する。
 - ③ 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共にアーティスティックトワール／アーティスティックペア／フリースタイルチーム／グループの演技を審査する。

ルチーム／グループは3名とする。

③ フリースタイルチーム／グループにおいて、審判員は1名以上とする。

(2) 選考は次の通りとする。

① アーティスティックトワール／アーティスティックペアは10点法により採点し、全審査員の評点をを集計し、合計得点の高い方から選考する。

③ フリースタイルチーム／グループは100点法により採点し、全審査員の評点を集計し合計得点の高い方から選考する。

④ 同点者が出た場合は次の手順に従って順位を決定し選考する

ア) 全審査員席次合計を集計

イ) 審査員の投票

⑤ フリースタイルチーム／グループにおいて、ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。違反があった場合には、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

6. 音楽に関する規定

(1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア

課題曲 1分44秒

(2) フリースタイルチーム／グループ

自由曲 2分50秒～3分40秒

7. コスチュームに関する規定

(1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／グループ共通

① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

(2) フリースタイルチーム

① 髪飾りは可。(但し、飾りは完全に髪についていなければならない。帽子の着用は禁止)

② コスチュームの色・デザインは自由。

女性

ア) ワンピースのレオタード

イ) ワンピースのレオタードにスカートがついた物

ウ) ワンピースのレオタードにズボン／パンツがついた物 又はユニタード (オールタイツ)

男性

エ) ロングパンツ

オ) ユニタード (オールタイツ)

③ コスチュームは②のア)～オ)の中から2種類を選ぶことができる。

● 男女混合の場合：女性はア) イ) ウ)の中から、男性はエ) オ)の中から1つずつ

● 女子のみの場合：ア) イ) ウ)の中から2つ

● 男子のみの場合：エ) オ)の2つ

(3) グループ

① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

8. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。

② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、ペア及びフリースタイルチームに関しては、演技者全員が同じ色を使用する。

③ 演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。

④ 演技中の怪我のための包帯は可。

⑤ 必要ならばメガネ可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。

⑥ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。

⑦ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾(顔に絵を描いたりすること)は禁止。

- ⑧ 演技中にバトンが折れた場合等は、事故とみなし再演技する事が出来る。再演技の判断は、本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。
- ⑨ 演技者が演技スペースへ持ち込めるバトンの数は、1人1本とする。

9. 著作権について

フリースタイルチーム／グループ共通

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾を行ってください。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となります。

尚、著作権は著作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせ下さい。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おき下さい。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。

ア) 条件なしで許諾された

- 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

イ) 条件ありで許諾された（無料）

- 元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

ウ) 条件ありで許諾された（有料）

- 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

エ) 許諾の必要がない（自作曲等）

- 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- 版權所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送です。

録音利用明細書（新規、又は過去所得のコピー）・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して **2017年1月11日（火）** までに送付のこと。

- **なお、使用曲をCD-Rに録音し、セット番号、種目、部門、曲の長さ、団体名、選手名を記入し、2017年1月11日（火）までに送付のこと。**

※使用曲に不備がある場合は全日本選手権大会に推薦できない場合もあります。

アーティスティックトワール

1. 演技に関する規定

- (1) 演技 … 1 名
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン 1 本
- (3) 演技スペース … 横 12 m × 縦 6 m の広さを目安とする。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある。
- (4) 演技曲（時間） … 課題曲（約 1 分 44 秒）

2. 審査内容

(1) 技術

- ① テクニック
- ② スピード
- ③ 3 モード(エーリアル・ロール・コンタクトマテアル)のバラエティー・ディフィカルティー
- ④ ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
- ⑤ ディフィカルティー
- ⑥ クリアネス&シュアネス

(2) 芸術

- ① ジェネラルコンテンツ
- ② ビジュアルミュージカルティー
- ③ 空間の利用度
- ④ チェンジオブペース
- ⑤ スキルの要求度
- ⑥ 演技の優秀さ
- ⑦ 正確さ
- ⑧ エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

アーティスティックペア

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……2名
- (2) 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- (3) 演技スペース ……横12m×縦6mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある。
- (4) 演技曲（時間） ……課題曲（約1分44秒）

2. 審査内容

- (1) 内容
 - ① バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - ② エクスチェンジ
 - ③ 移動しながらのバトントワリング
 - ④ 両手使い
- (2) 実施
 - ① 滑らかさと流れ
 - ② 音楽との関わりでの速さ
 - ③ ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - ④ バトンとボディの正確な技術
 - ⑤ ペアワーク
- (3) 全体的効果
 - ① 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - ② 時間と空間の利用
 - ③ ステージング
 - ④ 一貫性と論理的な展開
 - ⑤ エンターテインメントの価値
 - ⑥ 表情と身仕舞い
 - ⑦ プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

フリースタイルチーム

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 ……6名から8名
- (2) 演技に使用するバトン…レギュラーバトン6本から8本（各1本）
- (3) 演技スペース ……横2.5m×縦1.5mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印を付ける。演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある。
- (4) 演技曲（計時） ……フリースタイルの音楽は各参加者が選択しCD-Rに録音し事前に送付すること。
CD-Rにはセット番号・種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが計時には認めない。
3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする。
- (5) 入退場について ……原則として演技者は、チーム名をアナウンスされてから審査より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は曲なしで行うこと。

2. 審査内容

(1) 内容

- ① バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- ② エクスチェンジ
- ③ 移動しながらのバトントワニング
- ④ 両手使い

(2) 実施

- ① 滑らかさと流れ
- ② 音楽との関わりでの速さ
- ③ ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- ④ バトンとボディの正確な技術
- ⑤ チームワーク
- ⑥

(3) 全体的効果

- ① 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
- ② 時間と空間の利用
- ③ ステージング
- ④ 一貫性と論理的な展開
- ⑤ エンターテインメントの価値
- ⑥ 表情と身仕舞い
- ⑦ プロフェッショナリズム（リカバリー能力、チームの責任）

※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

グループ

【種目の概要説明】

グループ種目における重要ポイントとは、エフェクト（効果）の完成度と明確さ。これを達成するには、フォーメーション、構図、パターン、移動時の動作など、メンバー全員がスキルレベルを同様に習得している事が求められる。これらの技術を基礎とし、音楽表現、テーマ、キャラクターやストーリーをビジュアルエフェクト（視覚効果）として表現する。振り付けは自由に行う事が出来、フリースタイルチーム種目のように必要とされる内容を演技に組み込まなくてはならないという制約はない。また、演技で使用するスキルをより深く掘り下げるより、ユニゾン（協調性）が重要である。それに伴って演技の明確さや視覚的な主張が大切で、よりエンターテインメント性に富んだ演技種目。

1. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 10名以上
- (2) 演技に使用するバトン … レギュラーバトン（各自1本）
- (3) 演技スペース … 横25m×縦15mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある。
- (4) 演技曲（時間） … 自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、CD-Rに録音し、事前を送付すること。
CD-Rには、セット番号・種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない
3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする
- (5) 入退場について … 原則として、演技者は、グループ名をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと。

2. 審査内容

(1) 全体的効果 40%

- ① 最重要点は、完成度の高さ
- ② 音楽を生かしたキャラクター、一人一人の役割、個性、グループのスタイル
- ③ 論理性や信頼性に基づく、優秀な演技
- ④ グループならではの幅広く多彩な効果、引き付ける魅力
- ⑤ 全体を通してムード、芸術性、視聴覚の一致の維持
- ⑥ フロアの利用、列、タイミング、空間の利用

(2) コレオグラフィー 30%

- ① プログラムコンセプトの優秀さ（テーマの展開）
- ② 作品のドラマチックさと、計算されたバトン・ボディワーク・ステージング・フォーメーションの展開の質

③ 時間やレイヤー（いくつかのパーツの重なりや層）を用いたデザインと構成の質

(3) バトン 15%

- ① 演技者のレベルに見合ったトワーリング素材
- ② バトンとボディワークのコンビネーション
- ③ 全員によるバトン熟練度の達成
- ④ 素材の十分なトレーニング
- ⑤ マスター度

(4) ボディ 15%

- ① 演技者のレベルに見合ったボディワーク素材
- ② ボディワークとバトンのコンビネーション
- ③ 全員によるボディワーク熟練度の達成
- ④ 素材の十分なトレーニング
- ⑤ マスター度

<技術内容の禁止事項>

スピン	・ 1 スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・ 2 スピン…スタンダードリリースとレセプション。(※1) ボディの禁止事項なし。
エーリアル ジムナスティック	・ 側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス&トラベリング コンプレックス	・ トスの下で、メジャーボディムーブ (※2) は1回。 ・ その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・ その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	・ トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	・ コンティニューアスフロントネックロール（手の有無に関係なく）禁止。 ・ フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・ モンスターロール（パーシャルも完成形も）禁止。
コンタクトマテリアル	・ 禁止事項なし。

詳細：(※1) スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

(※2) メジャーボディムーブとは、イリュージョン・ウォークオーバー（前・後）・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップ・スエーデン・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

エントリーと支部別出場枠数

(1) 以下の通りすべて支部推薦とする。

		北海道 東北 関東 北陸 東海 関西 中国 四国 九州 沖縄 計											
アーティスティックトワール	女子	Jr	1	1	20	2	6	17	3	1	9	1	61
		Sr	1	1	12	1	5	9	1	1	11	1	43
		Ad	1	1	1	1	8	3	1	1	5	1	23
		自由枠	1	1	3	1	3	3	2	1	3	0	18
	男子	Jr	1	1	2	1	1	2	1	1	6	1	17
		Sr	1	1	1	3	1	3	1	1	1	1	14
		Ad	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		自由枠	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	5
	計		7	7	44	11	25	40	10	7	37	6	191
アーティスティックペア	Jr	1	2	6	5	5	6	5	1	8	1	40	
	Sr	2	1	2	1	4	4	1	1	2	1	19	
	Ad	1	1	3	1	6	3	1	1	3	1	21	
	自由枠	1	1	3	1	3	3	1	1	3	0	17	
	計	5	5	14	8	18	16	8	4	16	3	97	
フリースタイルチーム		1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	14	
	自由枠	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	14	
	計	2	2	3	3	3	7	2	2	2	2	28	
グループ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20	
	自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	

各種申込について

1. 参加申込

- (1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。
必要事項を入力して 2016年11月28日(月) PM5:00迄に大会事務局に必着にて郵送すること。Eメール
アドレス kanto42@tbz.t-com.ne.jp (FAX 不可)

2. 参加費

- (1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて2016年11月28日(月)迄に振込むこと。
(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。
① 団体参加費 1,000 円 (送料、手数料として)
② 日本選手権予選の部
WBTF インターナショナルカップ/2017 年 I B T F グランプリ予選関東支部選考の部

ソロトワール	6,000 円	アーティスティックトワール	6,000 円
トゥーバトン	6,000 円	アーティスティックペア	10,000 円
スリーバトン	6,000 円	フリースタイルチーム	20,000 円
ダンストワール	6,000 円	グループ	30,000 円
ソロストラット	6,000 円		
ペア	10,000 円		

3. 入場券 (プログラム付)

前売り券：両日 3,500 円、 各日 2,000 円 当日券：各日 2,500 円

(当日券は状況により販売できないこともある)

※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。(幼児は座席を確保しなければ不要)
参加者は両日入場券不要

※参加団体が前売り券を申し込む場合は送料は不要。

4. 引率者 (参加申込後、引率者用リボンを送付)

- ・参加者 10 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 1 名
- ・参加者 11 ~ 20 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 2 名
- ・参加者 21 ~ 30 人まで 団体引率責任者 1 名 + 引率者 3 名

※ 引率者はすべて入場券を不要とし、10 人増えるごと引率者が 1 名増える。

※ 団体引率者には、プログラム 1 部進呈。

<大会事務局> ※上記 1 ~ 3 申込先

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304 号室

日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせは E メールにてお願い致します。

E メールアドレス kanto42@tbz.t-com.ne.jp

5. 課題曲 CD

全日本選手権課題曲 CD 1 枚 2,160 円

(各団体責任者は必ず購入してください。)

ショートプログラム・アーティスティック課題曲 CD 1 枚 1,080 円

◆上記申込先 <一般社団法人日本バトン協会>

HP より手続きができます。

6. 写真撮影・ビデオ撮影について

- (1) 会場内での写真撮影・ビデオ撮影は禁止とし、業者による記念写真・記録ビデオは個人の申し込み制とする。

00		払 込 取 扱 票									
口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。											
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金額			
001308				359400							
加入者名 日本バトン協会関東支部								料金		備考	
【第42回全日本B T選手権関東支部大会参加費用】											
参加費合計 円											
×切2016年11月28日 (月)											
団体名 -											
日 附 印											
様											
(ご連絡先電話番号)											

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

通信欄・ご依頼人様

おなまえ

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

口座記号番号		001308									
加入者名		日本バトン協会関東支部									
金額		千 百 十 万 千 百 十 円									
ご依頼人		おなまえ									
料金		消費税込									
備考		日 附 印									
円											

この受領証は、大切に保管してください。

00		払 込 取 扱 票									
口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。											
口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金額			
001308				359400							
加入者名 日本バトン協会関東支部								料金		備考	
【第42回全日本B T選手権関東支部大会前売り入場券申込書兼払込書】											
○前売り入場券 (プログラム付)											
両日券 3,500円× 枚= 円											
11日券 2,000円× 枚= 円											
12日券 2,000円× 枚= 円											
合計 円											
※参加団体は送料不要 (2回目以降は510円負担)											
×切2017年1月18日 (水) 団体名											
日 附 印											
様											
(ご連絡先電話番号)											

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

通信欄・ご依頼人様

おなまえ

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

口座記号番号		001308									
加入者名		日本バトン協会関東支部									
金額		千 百 十 万 千 百 十 円									
ご依頼人		おなまえ									
料金		消費税込									
備考		日 附 印									
円											

この受領証は、大切に保管してください。